

国際フェリーの拠点として

中国航路 週4便
韓国航路 週1便

既存北海道航路

韓国航路

京都舞鶴港

中国航路

太倉

上海

航空機より安く、コンテナより早い！ スピードボート投入による航路開設

国際海上コンテナの拠点として

中国航路 週4便
韓国航路 週2便
ロシア航路 週1便

ナホトカ方面
(ナホトカ・ポストーチニー)

ロシア航路

大連方面
(黄海・渤海)

韓国航路

京都舞鶴港

青島

中国航路

釜山

上海方面
(上海・太倉)

— 既存航路
... 新規誘致航路

既存施設を活用したコンテナ航路の充実

外航クルーズの拠点として

年間14回程度の寄港

小樽港

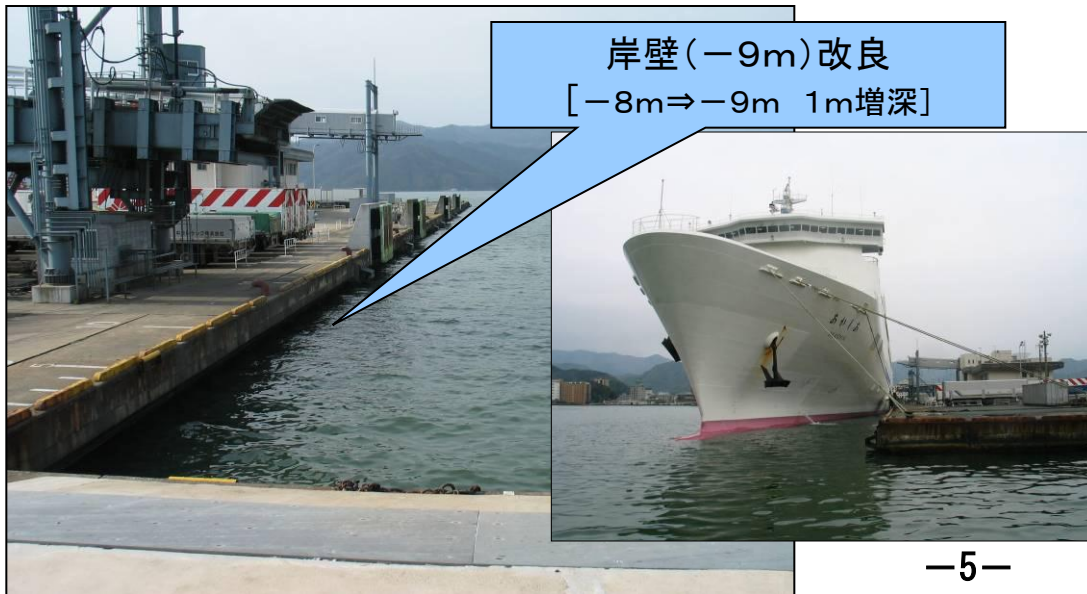
伏木富山港

京都舞鶴港

複合一貫輸送（フェリー）を支える事業



新日本海フェリー
舞鶴～小樽航路(1日1便)
船舶の諸元
総トン数 : 約17,000ト
航海速力 : 30.5ノット
車両積載台数:トラック158台
乗用車66台



舞鶴港のフェリー貨物は、内貿貨物の約8割を占めている。平成16年に高速船を導入したことで運航時間を約10時間短縮し、舞鶴～小樽間を約20時間結ぶフェリーの需要はさらに高まっている。

このような要請に応えるべく、平成18年に港湾計画を一部変更しフェリー船舶の大型化に対応するため岸壁の水深を8mから9mに増深する岸壁改良事業を進めています。